科目ナンバリング	U-LAS01 10006 LJ38						
授業科目名 <英訳>	東洋史II Oriental History II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　太田　出		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	火2/木3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本授業では、前半部分で中国史の三大画期（春秋・戦国時代、唐宋変革、明末清初）について、後半部分では中国をめぐるいくつかのトピックについて解説を行う。授業を通じて中国史および現代中国を整理・分析するツールを身につけさせることを目的とする。

[到達目標]

中国史と現代中国について概説的な知識と基本的な理論を身につける。

[授業計画と内容]

第１回：ガイダンス
第２回：「世界史の基本法則」（１）
第３回：「世界史の基本法則」（２）
第４回：「世界史の基本法則」（３）
第５回春秋・戦国時代（１）政治・経済篇
第６回：春秋・戦国時代（２）社会・文化篇
第７回：唐宋変革論（１）
第８回：唐宋変革論（２）
第９回：明末清初――新しい近世論（１）
第10回：明末清初――新しい近世論（２）
第11回：映画でみる台湾史
第12回：日中戦争と宣撫官
第13回：関羽と明清帝国
第14回：海権論――アルフレッド・セイヤー・マハンと梁啓超
第15回：フィードバック（後日連絡する）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末試験（論述、持ち込み不可）／授業中の小テスト（3回ほど、持ち込み不可）／平常点（出席と参加の状況）などによって総合的に評価を行なう。割合は50%／20%／30%を予定しているが、詳細は初回授業（ガイダンス）にて説明するので必ず出席すること。

[教科書]

授業中にレジュメを適宜配布する。

東洋史II(2)へ続く↓↓↓

東洋史II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業中に参考すべき論文や図書を紹介するから、それらを予習として読んだうえで授業に参加するか、あるいは復習として授業後に読んで欲しい。期末試験には、授業中に紹介した参考文献を読んでいるものとして出題するから注意しなさい。

[その他（オフィスアワー等）]